

片野文吉 （幼名） 哲學者、歌人。明治十七年四月七日茨城県上浦町生れ、大正二年五月二十六日歿（八四—九三）。號星花、脱牛、陽齋。

明治二十一年水戸中學校入學、傍ら手塚陽軒に漢籍を學び、漢詩文を試作した。二十三年慶應義塾普通部に入る。このころ美文、小説、新體詩、短歌を作り、高山樗牛を愛讀。うち大學部に進んで哲學を修め、その研究の一端を「水戸いばらき新聞」に連載。また文科教師クレークの「ルバイヤート」講義を受け、マカーシー散文譯による和譯の取りかゝつた。四十一年病を獲り歸郷、病勢小康の折濁方で週刊「水戸タイムス」を創刊、こい子エ、ワイルド、ルバイヤート等の翻譯を掲載してゐたが、程なく廢刊。その後支那に遊ぶも病再發して歸朝、病床にありて歌作に勵んだ。大正二年「ルバイヤート」譯了後、（かく）幾許もなく歿した。

翌年刊行せられた、オオママ・ケエヤム原著「ルバイヤツト」(大正三年二月十五日開文館、のち昭和十一年六月二十日龍星閣)には、上田敏・永井荷風等の序文、與謝野の跋がある。

